

厚生教育

蓮池小の学童保育 ムービングハウスで対応

2月13日開催

蓮池小学校学童保育所は、令和8年度利用申込みが、最大受入利用者数226人に対して、令和8年1月末時点、240人で14人の超過になる。

令和9年度の学童保育所新設までの対応として、移動式木造住宅、通称ムービングハウスの設置を考えている。広さは30平方メートルで定員は18人、最大24人まで受入れることができる。

大池堤体改修工事

(第2期)の進捗状況

掘削工事中に工業用水管の埋設が確認され、事業所との調整や設計図面の見直し等に期間を要したため、工期の延長が生じた。

当初工期を令和8年3月31日としていたが、5月31日までとする。



高い費用をかけてリーダー探索などをすれば位置の確認ができたと思うが、一般的にはそこまでしていない。
今後は十分に調査して工事に反映させる。

【主な質疑応答】

問 工業用水管の埋設を把握しているにもかかわらず、このような状況になるのは事前調査不足だと思いが要因は。

答 かなり古い工業用水管であり、企業側・本町ともに詳細な埋設図面等がなかった。
両者の現地立会で宅地側にあると判断したが、実際には少し大池側であり、設計変更になった。

大規模災害時・災害廃棄物 仮置場の協定締結

現在、災害廃棄物の仮置場として「新島中央公園(球場)」「新島南緑地」の2か所を指定している。

播磨町災害廃棄物処理計画において、想定される災害廃棄物の量に対し、現在の仮置場は十分に確保できているとは言えない状況である。
そこで、このたび新島で操業している(株)キズナックスエコロジーの

協力を得て敷地の一部を仮置場として使用する協定を締結した。

【主な質疑応答】

問 ダイオキシソシン類やPCBを含んだ災害廃棄物の対応は。

答 仮置場に搬入する災害廃棄物は一般家庭から出たものを想定している。事業者から出た有害物等を含むものについては、各企業が責任を持って処理をするものと考えている。

播磨町人権尊重の まちづくり推進計画策定

本計画は全ての人がお互いの人権を尊重し、多様性を認め合う社会の実現を目指し、播磨町人権尊重のまちづくり条例に基づき人権施策を具体的にかつ計画的に推進していくことを目的に計画を策定した。

目指す将来像の実現に向けて、様々な人権課題についての取組の推進を基本方針とし、条例の周知・情報発信、不当な差

別的取扱いの解決に向けた体制の充実、協働による人権尊重のまちづくりの意識と機運の醸成を重点的に取り組むことを掲げている。

毎年事業評価を行った上で、施策の進捗状況を人権委員会や人権尊重まちづくり検討委員会に報告をし、意見を踏まえて施策の改善に取組んでいく。

【主な質疑応答】

問 評価結果を住民に分かりやすく、毎年度公表して理解を深めるために発信をする考えは。

答 年度内の評価をホームページ等で公表していきたい。

【その他】

◆播磨町新型インフルエenza等対策行動計画の改定

◆子ども誰でも通園制度
給付費の支給対象となる運営基準

12月25日開催

播磨町地球温暖化 対策実行計画策定状況

本計画では、播磨町内から排出する温室効果ガスの削減目標を定め、住民・事業者・町のそれぞれが率先して地球温暖化対策の取組を推進することを目的とする。

最終目標年度令和32年に掲げた将来像の実現を目指し、目標達成に向けた取組施策として、基本目標を「エコで未来になく安心・安全・快適に暮らせるまちづくり」「脱炭素社会に向けた地域づくり」「持続可能なまちづくり」と設定した。

【主な質疑応答】

問 温暖化対策の必要があると思うが、快適性を優先する中で、まず最初の取組の考えは。

答 CO2削減効果で将来得られるメリットを周知する事で地球温暖化に対する活動が推進されていくと考える。

町の課題解決策、高校生が提案

町の課題解決に向けて、播磨南高校2年生「地域デザイン類型」の生徒と播磨町議会議員が意見交換会を行い、授業でまとめた提案について議員がアドバイスをしました。提案は議論を踏まえて内容を充実させ、令和8年度の実施を目指しています。

令和8年1月9日

播磨南高等学校では、地域デザイン類型の2年生22人が、昨年からインターネットや町広報紙、議会だよりなどを参考に、地域の課題を調査・研究する「HarriMAP(ハリマップ)I」の一環で、調べを進めています。

生徒たちは6グループに分かれて「空き家再生プロジェクト」や「播磨町活性化プラン」などの8テーマで町議会議員と議論を交わしました。

Aグループ

◇働いている親を助けよう
Scholer

◇孤食を無くそうオンライ
ン食事会

Bグループ

◇空き家再生プロジェクト

◇外来生物駆除&亀のから揚げグループイベント

Dグループ

◇オポナカード(スタン
プラリー)

Eグループ

◇播磨町に観光客を増や
そう!

◇播磨町活性化プラン

Fグループ
◇播磨町のピクマップ
を作ろう!

播磨南高等学校の地域 デザイン類型では、地域 課題の解決や新しい価値 の創造を目指しています。

専門知識を持つ大学教員から学び、地域活性化のプロジェクトに関わっています。
具体的な活動として、地域住民への提言、企業との連携、ガイドマップの作成などを行っています。

また、同校では、議員の意見も取り入れたポスター発表が1月30日に行われました。
今回の発表テーマの一つである「播磨町のピクマップを作ろう!」では、令和6年度の先輩の同提案を引き継ぎ、ブラッシュアップし完成形に近づけていくなど、単年

